

介護保険制度とは、65歳以上の高齢者や40～64歳の特定疾病患者のうち介護が必要になった人を皆で支えていく仕組みのことです。この制度を利用することで、デイサービスに通い入浴やリハビリが出来たり・介護用ベッドのレンタルや手すりの設置（住宅改修）など負担を軽減して利用することができます。

利用するには、市町村の窓口へ介護保険の申請をして介護認定を受ける必要があります。詳しいことや、介護に対して何か不安がある方はいつでも連携室へご相談ください。



お問い合わせ先：阿梨花病院大津 地域連携室 (096-293-5000)

診療日程

受付時間 ◆月～金曜日 8:00～12:00 / 13:30～17:00 ◆土曜日 8:00～12:00
診療時間 ◆月～金曜日 8:30～12:30 / 14:00～17:30 ◆土曜日 8:30～12:30

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
呼吸器内科				○					○		
循環器内科		○※1									
消化器内科							○※2				
整形外科			○	○※3	○		○		○		○

※当日の詳しい診察時間等のお問い合わせは、096-293-5000 までお気軽にお電話下さい。
※1 診療時間13:30～16:30 ※2 第2・3は内視鏡検査 ※3 受付時間13:30～16:30 診療時間14:00～17:00

医療法人社団 坂梨会 阿梨花病院大津 〒869-1235 熊本県菊池郡大津町室261-9
TEL:096-293-5000 FAX:096-293-0920

- 関連事業
- ・ 居宅介護支援事業所ケアステーションおおづ TEL:096-243-0002
 - ・ 通所リハビリテーションセンターおおづ TEL:096-243-0200
 - ・ 訪問看護ステーションおおづ TEL:096-294-2838
 - ・ 阿梨花病院大津訪問リハビリテーション TEL:096-293-5000
 - ・ ライフグラン阿梨花（住宅型有料老人ホーム） TEL:096-293-8866

Topic 新しい通所リハビリテーションセンターおおづ・熱中症予防について・介護保険について



こんにちは！
通所リハビリテーションセンターおおづです！

病院リハビリでは、理学療法士・作業療法士が入院・外来の患者様に対し、機能の維持改善を目的にリハビリをおこなっています。

理学療法では、運動機能が低下した状態にある人々に対し、運動機能の維持・改善を目的に運動・温熱・電気・水・光線などの物理的手段を用いて行われる治療を行っています。作業療法では、生活する上で必要な動作（食事・排泄・入浴・更衣・移動など）や応用動作（家事・外出など）を練習しています。病気や障害があっても住み慣れた街で、自分らしく暮らしたいというひとりひとりの思いを大切にして訓練をおこないます。



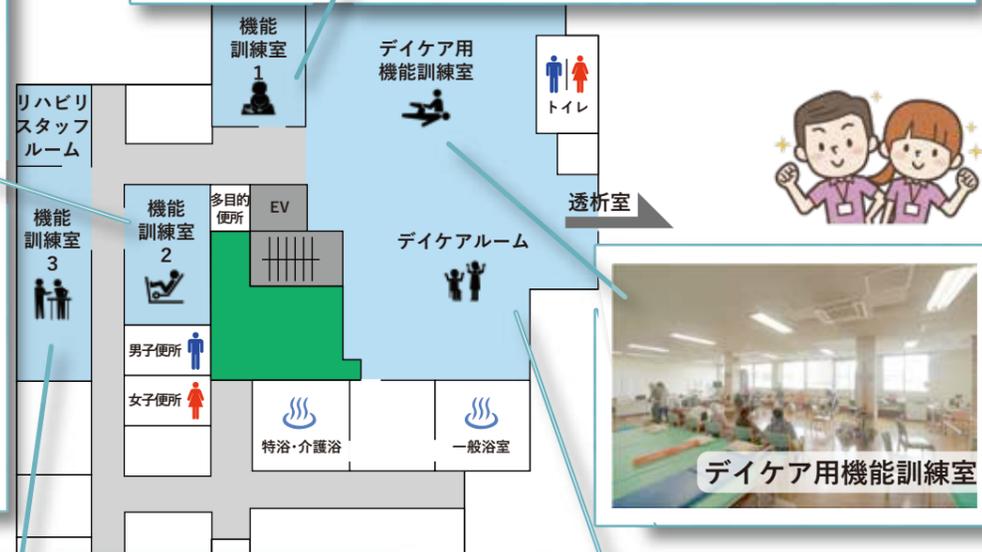
機能訓練室2

筋力向上・筋持久力向上を目的にマシンを使用しリハビリを行います。マシントレーニングを軽負荷で行い、全身各部の使っていない筋を動かすことで効果が得られます。



機能訓練室1

実際の生活場面を想定した環境で、料理や食器洗いなどの家事動作を練習し、障害に応じた床上動作の獲得を目指すとともに、環境設定や使いやすい道具、介助方法の提案等を行います。



機能訓練室3

運動療法（歩行訓練・起立訓練・バランス訓練など）や物理療法等を行い心身機能の向上を図ります。

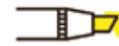


デイケアルーム



熱中症に対して注意して夏を元気に過ごしましょう！

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調整機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも何もしない時でも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。



暑さを避ける！

❖ 扇風機やエアコンで温度をこまめに調節



❖ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用



❖ 外出時には日傘や帽子を着用



❖ 天気の良い日は日陰の利用、こまめな休憩



❖ 吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用



❖ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす



⚠️ 「熱中症警戒アラート」発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう



こまめに水分を補給する！

❖ 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分・塩分などを補給



熱中症の症状



⚠️ 応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう



熱中症が疑われる人を見かけたら(主な応急処置)

❖ エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難



❖ 衣服をゆるめ、からだを冷やす (首の周り、脇の下、足の付け根など)



❖ 水分・塩分、経口補水液などを補給 ※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



📢 チェック! 自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、ためらわずに救急車を呼びましょう!



ご注意

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

室内でも熱中症予防!

暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

高齢者や子ども、障がいをお持ちの方は、特に注意が必要!

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調整機能も低下しているため、注意が必要です。また、子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。



引用：厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」



阿梨花病院大津では、看護介護職・理学療法士・ケアマネジャーを募集しています。それぞれの職場で、あなたを活かしてみませんか？見学大歓迎です。



お問い合わせ先

【看護介護職・理学療法士】橋本・今村 096-293-5000

【ケアマネジャー】柳澤 080-5600-8785



介護福祉士



看護師



理学療法士



ケアマネジャー